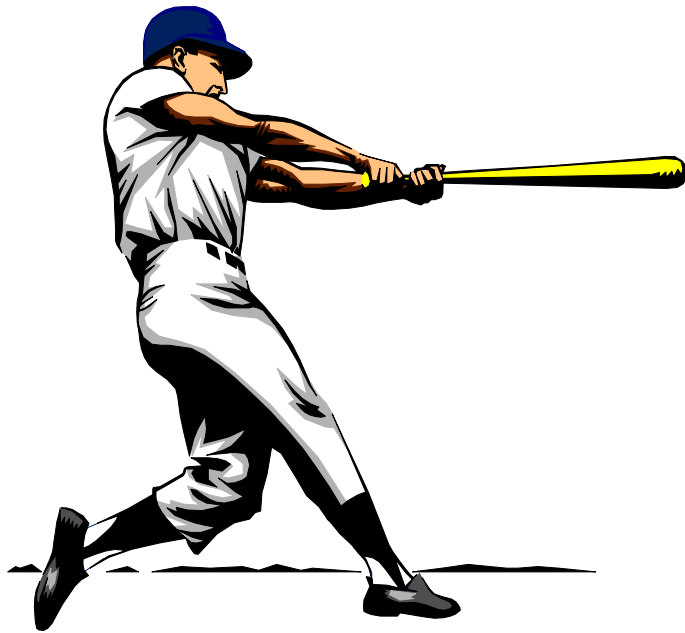


2月卒団記念号  
2010年2月28日発行  
Vol.110

# 月刊ウエスタンズ



## 名古屋ウエスタンズのモットー

礼儀正しくする  
一生懸命やる  
基本通りやる  
約束を守る  
思いやりをもってやる

祝 第32回南部少年野球大会

優勝

Aチーム



2月7日 大高緑地公園  
対 スポーツクラブボンフリー 2 - 0

## はじめに

### 23期生の選手、卒団おめでとう！

卒団式のみみんなの涙を見ていると本当に頑張ってきたのだなと思いました。

みんなの頑張りが卒団式前日に瑞穂球場で決勝トーナメントの準決勝、決勝を戦えたことだと思います。

選手は16人、先発グラウンドには9人しか立てません。その中でそれぞれ家で練習したと思います。結果先発で出れなかった選手もこれからが本当の意味での野球が始まります。よく結果がすべてとか勝たなければ意味がないと言います。もちろんそうかもしれませんし否定もしません。しかし努力したプロセス(過程)はもっと大事です。努力なくして結果は生まれません。思った結果がでなかったと思ったなら、もっと努力して次の段階で結果を出しましょう！

ウエスタズではレギュラーをとっていたつもりもりの選手はおれはうまいと思った瞬間に落ちこぼれていきます。部活、クラブチームでは自分よりうまい選手がたくさんいると思います。今まで以上に練習をしてください。

保護者の方はウエスタズ生活ご苦労様でした。ひと時の休みの後は中学でのサポートが始まります。部活とクラブチームでは心配事、親への負担が大きく異なりますが、失礼な言い方かもしれませんが親のエゴは心にしまって選手が第一！第一！第一！と考えてサポートをしてください。

### 在団生の選手へ

過去の先輩の成績にとらわれず、監督の指導のもと一生懸命野球をしてください。Aチームの選手と同じようにがんばらないとレギュラーもとれないし優勝も出来ません。

**AもCもウエスタズらしい野球をしましょう！**

## 臼井代表より

### 第23期卒団生へ

卒団おめでとうございます。

この名古屋ウエスタズに入団して色々な体験をし、卒団することとなりました。思えば長いようで短い数年でしたが、皆さんの一生懸命頑張りとおしたことが今日の日に結びついています。一日一日の積み重ねが今の喜びにつながっています。その大きな成長の支えになってくださった

のは、監督、コーチ、お父さん、お母さんです。特に、温かみの中に時には厳しく導いてくださった高見監督、井上コーチには心よりお礼を送ります。次に君たちの成長を助けてくれたのは友達存在でしょう。嬉しい時、辛い時ともに喜び、ともに悲しみ、時にはけんかもしながらも大きな影響を与えてくれたのはチームメイトです。これからの友情を約束しながらお互いお礼を言きましょう。また、名古屋ウエスタズの中で得たことを糧にして大きくさらなる成長をしてくれる事を信じています。今後の活躍を期待しお別れの言葉とします。最後に、名古屋ウエスタズのユニホーム着てくれてありがとう。

## 藤井総監督より

第23期生の皆さん、卒団おめでとう。そして新しいスタートおめでとう。

素晴らしいチームになりました。優勝することもできました。これは、選手それぞれがコツコツと地道な努力を積み重ねてきた結果であります。あらためて皆さんの努力に敬意を表します。

卒団は新しい門出であります。門出にあたって一人ひとり決心するところがあると思います。その決心をいつまでも大切に、その決心の実現を目指してください。

この先、決心がゆるぐことがあるかもしれませんが。そのときは気持ちを強めてふんばってください。

私はこう思っています。私は生まれつきの凡人、どうあがいても凡人は決して天才にはなれない。しかし、毎日を全力で生きて、人一倍の努力を惜しまなければ、いつか非凡になれるはずだ。

『一日一生』この言葉は仏教用語で、自分の一生は今日一日しかないくらいの気持ちで、一生懸命に、あるいはムダにしないで大切に生きよという教えです。

『一日一生』は非凡をめざす凡人にとって大切な生き方だと思います。

繰り返します。『一日一生』決心の実現を目指して頑張ってください。

高見監督 大変ご苦労さんでした。ありがとうございました。素晴らしいチームを作ってくれました。最後の優勝は、高見野球が花開いたと言えるでしょう。また近い将来、名古屋ウエスタズのユニホームを着てさらに進化した高見野球を見せてください。

井上コーチ ありがとうございます。コーチとしてまた事務局として、いろいろ問題がありましたので、大変ご苦労をおかけしました。これからは何らかの形で協力をお願いいたします。

ご父兄の皆様 いろいろなことでご協力をいただき、大変ありがとうございました。

本当に子供たちは、体力的にも精神的にも大きく成長いたしました。これからの子供たちの大きな成長と活躍を心から願っております。

卒団おめでとうございます！

## 高見監督より贈る言葉

23期生の選手皆さん、卒団おめでとうございます。卒団までに数々の優勝、準優勝を手にし、本当によく頑張ってくれました。私も十数年少年野球に携わらせていただきましたが、23期生が私の最も理想としたチームに成長したと感じています。

ここまで成長したのも、毎週、試合の応援やチームの面倒をみていただいたご家族の方々や私と一緒に指導していただいたコーチの存在無しでは語る事が出来ません。本当にありがとうございました。

卒団する選手の皆さんは、優勝メダルや準優勝メダルを手にしたことは素晴らしいことではありますが、一番のメダルと言え、目に見えないものですが、最後まで頑張り抜いた努力の金メダルが最高のものだと思います。今後も努力を惜しまずスポーツにまた勉学に励んでください。

最後に23期生へ私からのメッセージを贈ります。

### 10 斉藤 雄（主将）

3年間、主将としてチームを引っ張ってくれた君の統率力には日々感心するばかりでした。そのような厳しい環境の中でも、選手としては攻守守に力を十分発揮してくれました。体はみんなより少し小さいのですが、長打を打つトップバッターとしてチームの期待に答えてくれて、君の打撃力で何度もチームが救われたと常に思っていました。

### 6 早田 拓未（副主将）

初めて会った時、君の野球知識の高さとグラブ捌きを見て、必ず素晴らしいショートストップになると感じ、4年生からショートストップで守備の要として活躍してくれました。グラブ捌きやす

ローイングは、中学生並みの力を備えた名ショートになったと確信しています。また、副主将として齋藤主将のフォローもしてもらい監督の期待に応じる素晴らしい選手でした。

### 1 小林 篤生

君と加藤君とで先発二本柱として期待し、優勝を狙うチーム作りをしましたが、昨年1月に大事な右腕の剥離骨折が判明し、夏まで投球ができなく非常に残念な思いをさせてしまいました。しかし、復帰後は剛速球が甦り、期待以上の投球を見せてくれました。また、投手としてだけでなく、バッティングも非凡なものがあり、これからの非常に楽しみな選手です。

### 2 堀川 翔伍

強肩でインサイドワークが非常に上手なキャッチャーとして期待以上にチームを支えてくれました。名古屋市内のチームの中では3本の指に入るほどのキャッチャーであったと思います。また、4番打者としてチャンスに強く長打力を備えたスラッガーであり、君の一撃で勝負を決めた試合が何試合もありました。これからの活躍を期待しています。

### 3 近藤 旬

Aチームになり、2週続けて、フェンス越えの満塁ホームランには、驚きの出来事でした。元々長打力を持った打者でしたが、これだけ印象深いホームランはありませんでした。守備では一塁手として体の柔らかさを最大限に発揮し、セーフになるところを何度も華麗な守備でアウトにした技術を今後も更に磨いて素晴らしい野球選手になってください。

### 4 岩田 裕太

俊足を活かした二塁手として、広い守備範囲での守備力はチーム内では一番でした。また、内野ゴロダブルプレーで必要とする、トスの技術やベースへの入り方は、素晴らしいものがあり、早田と組んだ二遊間は鉄壁のコンビでした。入団当初は、物静かな選手で、大丈夫かなと心配した程でしたが、外には出さない闘争心が非常に強い選手でした。

### 5 牧 幹人

どこでも守れる非常に器用な選手でした。6年生の初夏の頃、手首を骨折し、しばらくスタメン

から外れることがありましたが、一度も挫けることなく練習する姿は感心するばかりでした。ケガから復帰し、三塁手として華麗な守備を何度も見せてくれました。バッティングでは意外性を十分発揮し、ここぞという場面での巧打が忘れられません。

#### 7 市川 太一

バットスイングの速さはチーム一で、毎打席のフルスイングは魅力的でした。あまり表情を出さないクールな選手でしたが、ホームランを打ってベンチに戻る時は、いつもとは別人のような素晴らしい笑顔を見せてくれました。レフト守備では俊足を活かし、広い守備範囲と強肩でチームを救ってくれました。今後も長距離ヒッターを目指して活躍してくれると信じています。

#### 8 石原 大哉

入団当初はあまり目立たない選手でしたが、非常に練習熱心で努力を惜しまない素晴らしい選手でした。本来は外野手が専門でしたが、キャッチャーや内野手も出来る選手に成長してくれました。特にセンターでの守備は捕球技術が高く、強肩でもあり、本塁に返球するボールは非常に魅力的でした。今後は身長が伸びるとともに素晴らしい選手になることを期待しています。

#### 9 平松 大暉

貴重な左バッターとして、チームには欠かせない存在でした。特にバッティングセンスは非常に高いものがあり、ミートして更にバットコントロールする技術は群を抜いていました。また、内外を守る選手として活躍してくれ、貴重な戦力でした。今後は、パワーが付いてくれれば、必ず長距離ヒッターに成長し活躍してくれると確信しています。

#### 11 加藤 雅大

背番号は11番ですが、名実共に我がチームのエースとして活躍してくれました。Aチームになって本格的にサイドスローにフォーム改造し、最初は思うような投球が出来ない時もありましたが、夏を過ぎてからは、見事な投球をするようになり、最後には南部少年野球大会で胴上げ投手になることができ、本当に素晴らしいエースに成長してくれました。君の頑張り無しでは、このチームは成り立たなかったと言っても過言ではないと断言できます。

#### 12 伊東 祥央

入団した当時は、スタメン出場が出来ず、焦ったこともあったと感じましたが、毎週の練習だけでなく、皆が見ていない時の秘密特訓が徐々に成果を現し、Aチームなってからは3番を任せるだけの選手に成長してくれました。非常に礼儀正しい選手であり、努力を惜しまない素晴らしい選手でした。これからも努力を惜しまずに4番を打てる選手に成長することを期待しています。

#### 13 宮里 龍太

Aチームの夏合宿の初日、アップの時に転倒し腕を骨折してしまい。残念でした。このケガがなければ、三塁手の先発投手ができるようになっていたと思います。しかし、我慢強くケガの回復を待ち、試合ではランナーコーチ等、裏方に徹してくれたことは、本当に感謝しています。今後は、投手として活躍してくれることを期待しています。

#### 14 高木 大樹

6年生の夏に家族の都合で中国から日本に帰国し、春先にチームに入団しました。入団した時は、大きな体でランニングも苦手でしたが、練習を重ねた結果、非常にスマートになっていきました。バッティング技術は短期間でありましたが、メキメキと上達し、もう1年早く出会っていれば、レギュラーを取れるほどになったと思います。これからの未完の大器だと思います。

#### 15 渡邊 翔太

以前所属したチームの解散で6年生の夏に入団しましたが、気持ちの優しい性格ですぐにチームメイトと馴染むことができ、二塁手として守備力が日に日に上達しました。少し体が小さいとご両親も心配していましたが、卒団までには、外野の頭を越すロングヒットを打てるまでになり、今までの努力が実を結んだと思います。短い期間でしたが、本当によく頑張りました。

#### 16 二宮 日出郎

6年生の夏に入団してきた時は、バットスイングの速さとパワーには驚きでした。すぐにレギュラーに抜擢とはいきませんでした。代打の切り札として代打に起用した試合でゲームを逆転したことが多々ありました。まだまだ、技術力を付け、打撃力だけでなく守備力が更に向上するような努力をすれば、必ず、素晴らしい選手になると

思います。期待しています。

## 卒団生より一言

「ウエスタンズの思い出」

### 10 斉藤 雄

僕が、ウエスタンズに入団したのは、1年生の冬頃でした。入団した頃は、毎週行くのが嫌でした。でも、毎週行くごとに、野球がうまくなり、楽しくなってきました。

5年生の春には、スポ少で優勝できました。瑞穂球場でできたことは一生の宝物です。

6年生でも優勝でき、良い結果を残せました。特に5年間で一番心に残った試合は、友好会の決勝戦です。相手は富士シャーク、結果は0対12で完敗でした。すごくくやしかったけれど、エースの上野君と対戦できたことはとても良い経験になりました。

小学校生活は、ウエスタンズ一色で、つらいこと、楽しいことが一杯ありましたが、野球を続けて良かったと思っています。

監督、コーチ、お母さん達、本当にありがとうございました。中学校に行っても野球をがんばりたいと思います。

### 1 小林 篤生

僕のウエスタンズでの思い出は、Bチームの時に、スポ少で優勝した事です。スタンドからの応援があつて頑張る事ができました。しかし、閉会式の時相手チームの人に"遅い球で打てなかった"と言われました。悔しかったです。その日から僕は速い球を投げたくなりました。本を読んだり、ビデオをみたりして、いっぱい練習しました。しかし、愛球リーグの決勝トーナメントの試合でケガをしてしまいました。試合に出れなくなりました。けれどランナーコーチやボールボーイの大切さがよくわかりました。

そして、九月から本格的に投げれるようになりました。だけど、ストライクが入らなくなってきてしまったので、壁当てや階段を走ったりしました。それからの試合で成果ができました。愛知BCJ戦の時です。最後まで0点におさえることができました。そして山本杯では勝つ事ができました。

そして、Aチームでの1番の思い出は南部少年野球大会で優勝した事です。僕は二回戦と三回戦に投げました。どちらも0点におさえる事ができました。そして決勝戦、ピッチャーはやらなかったけど、バッティングを頑張りました。僕は右中間

にタイムリー2ベースを打つ事ができて、最優秀賞をとることができました。中学でもウエスタンズでおしえてもらった事を忘れずに頑張っていきたいです。

### 2 堀川 翔伍

僕が入団したのは3年生の冬です。その後すぐにキャッチャーの子が転校してしまい、僕のキャッチャーの練習が始まりました。最初は全然できなくて叱られては泣いていました。

だけど監督、小池コーチはじめ、たくさんのコーチに励まされ、ここまでやってこれました。

僕の中で一番心に残っている試合はヘーベルカップ3回戦、三河スターズの試合です。最終回2点差で負けていて2アウトから一番、2番が塁に出て3番が3ベースで同点になり僕がレフト前にサヨナラヒットを打ちました。塁に到達したら牧が僕に抱きついて喜んでくれました。その時はものすごく嬉しかったです。この日は体調が優れなくてキャッチャーをやるのも辛かったけど、その瞬間、気持ち悪さも治ってしまいました。

この3年間お母さんは仕事と野球を両立してくれて、どれだけ朝早い時も僕をちゃんと起こしてくれ朝ごはんも、きちんと用意してくれました。そして牧母、岩田母、お母さん、三人で毎週毎週交代で送り迎えをしてくれて本当に三年間お世話になりました。

最後に高見監督、井上ヘッド、コーチの皆さん、Aの母達、今まで本当にありがとうございました。中学へ行っても頑張つて野球を続けていきたいと思っています。

### 3 近藤 旬

僕がウエスタンズに入団したのは3年生の7月でした。2つ年上の兄が入団していたので自分も野球に興味を持ちチームに入りましたが、ほとんど

野球のことを知らなかったのととても心配でした。それで初めころは、たまに休んでしまうこともありました。でも父がいっしょについて来てくれたり、監督・コーチから野球の基本、楽しさを教わり、だんだん野球が好きになりました。

Aチームで心に残っているのは、2試合連続でさく越え満塁ホームランを打てたことです。打席に入った後監督から「ぎせいフライ、ぎせいフライ」と言ってくれたおかげで気楽に打てたのがよかったんだと思いました。みんながつかないで作ってくれたチャンスにホームランが打てて、とても

うれしかったです。

Bチームの時、スポーツ少年団で初めて優勝ができ、Aチームになってもいっぱい優勝できるようがんばって練習しましたが、その後優勝できるチャンスはありましたが、1回もできませんでした。でも、最後に南部少年野球大会で、つないでつないでヒットを打つ、そして1点を取られないように守りきれたので、やっと優勝することが出来ました。全員野球を心がけ、打って打って守り勝つことができました。監督をどうあげでき、優勝旗をわたせたのでとてもうれしかったです。

最後に高見監督、井上ヘッドコーチ、コーチ、母たち、この3年半本当にありがとうございました。これからも監督、コーチに教わったことを忘れずに、中学、高校でも野球をつづけていきたいと思っています。

#### 4 岩田 裕太

僕がウエスタンズに入団して約3年が過ぎてもうすぐ卒団です。3年間の間にたくさん試合を行い試合の思い出はたくさんあります。その試合でも優勝した南部少年大会で寒い中で戦った有松ジュニアーズとの準々決勝を思い出します。僕は代打での出場でしたがその代打でヒットを打って出塁し、同点のホームを踏み最終的に勝った事です。大会での優勝もうれしかった事です。この勝利があって南部少年大会で優勝できたと思いますので僕の一番の思い出の試合です。試合のほかにも3年間でいろいろなことを経験しいろいろなことを勉強しました。暑い夏合宿での100本ノックはキツイかったけど終わった時はうれしかった。バスでの三重遠征試合では寒く、暗い時間に集合してすごく眠かった事、仲間との楽しいバーベキューなど今振り返ると思い出ばかりです。思い出を大切にしてお卒団してもウエスタンズでの事を忘れずに野球を続けていきます。最後にいろいろ教えていただいた監督、コーチ本当にありがとうございました。

#### 5 牧 幹人

僕は、一年生の春にウエスタンズに入団しました。僕には、お兄ちゃんが二人いて小さい頃お兄ちゃん達が土日になると野球の準備をして出掛けるのを見ていて僕もウエスタンズに入団するのかなと思っていました。体験の時に、ずいほう橋までランニングで一時間位かかって帰って来まし

た。Cチームの時は、基本練習が多かったです。Bチームでは、高見監督になって公式戦が増えました。Aチームになって、実力がついてきて少しずつ試合に出れる様になりました。僕が一番思い出に残っている試合は、Aチームの公式戦2月7日の南部少年決勝 対 ボンスリー 友好会と甚目寺の大会では、二大会とも準優勝だったので、この試合は「絶対勝つ・」という気持ちで試合に臨みました。0 - 0のまま五回小林くんのタイムリーで二点入りピッチャーの加藤君が0点におさえて2 - 0で勝ちました。みんなが一つになって全員野球で勝てたと思います。みんなで監督を胸上げすることができて凄く嬉しかったです。優勝できたのは監督、コーチ、お母さん達のおかげだと思います。ありがとうございました。ウエスタンズの思い出を忘れずにこれからも頑張ります。

#### 6 早田 拓末

僕は、ウエスタンズでの5年間で精神的にも技術的にも、多くのことを学びました。精神面では、はじめ泣いてばかりでしたが、ウエスタンズできたえられて、今でも涙もろいけど心が強くなれたと思います。技術面では、監督、コーチに丁寧に教えてもらって、ヒットも打てるようになったし、自信が持ってショートを守れるようになりました。そして、南部少年野球大会で優勝することができました。念願の優勝旗を監督に渡すことが出来て、とてもうれしかったです。僕は、皆で作上げた思い出を一生忘れません。そして、ウエスタンズで身につけた礼儀や学んだ技術を生かして、中学でも野球を頑張りたいです。ウエスタンズでめぐり合えた仲間、監督、コーチ、母達、そして心の支えになってくれた父、母、妹、本当にありがとうございました。

#### 7 市川 太一

僕は、4年生の時に名古屋ウエスタンズに入団しました。ウエスタンズに入ったきっかけは、斎藤君が、「うちのチームに来ない？」と誘ってくれたからです。Cチームの最初のうちは、バッティングも守備もルールすらわかりませんでした。だけど監督やコーチに教えてもらいCチームの後半には、みんなに追い付けるようになりました。Bチームでは、試合がはじまり、最初は出れなかったが、毎日練習し試合に出れるようになった。だけど途中でスタメンからおろされたり、代打でしか出れなかったからもっともっと練習をし、B

チームの後半には、瑞穂球場でやったスポーツ少年野球大会の決勝戦で9番レフトで出て相手は、平針HBCでした。みんなで力を合わせ優勝し、Bチームでの1番の思い出になりました。ただこの大会の後、僕の右ひじが骨折していることがわかりました。実は決勝をやる一ヶ月前からひじが痛く、痛いと言うと試合に出れなくなると思い、ずーっと我慢をしていました。その後一年間野球が出来ませんでした。骨折が治るまで左手一本でトスバッティングを上げてもらったり、その時に出来る事を精一杯練習し、復帰した時には、骨折する前より打てるようになった気がしました。Aでの試合にもほとんど出れるようになり、骨折して悔しかったけど逆にいい経験をしたと思います。Aチームの後半、南部少年野球大会を優勝し最後に監督に優勝旗を渡せてよかったです。優勝できたのは、監督やコーチ、母たちのおかげです。監督に教えてもらった事を中学でいかし、クラブチームでレギュラーをとりたいです。今まで本当にありがとうございました。

## 8 石原 大哉

ぼくは、3年生の秋に両親に『野球をやりたい。』といい、冬にはウエスタンズに入っていました。そのきっかけとなったのは、ナゴヤドームで中日ドラゴンズの井端選手を見て『カッコいい』と思ったからです。

Cチームの時は、入団して最初とても緊張しました。でもキャッチボールが上手くできなかったと時に監督やコーチが親切に教えてくれたのでちょっと『ホッ』としました。

Bチームの時には、サインプレーなど難しいことをたくさん教えていただきました。そのおかげで、名古屋スポーツ少年団春季大会で優勝することができました。

Aチームになってからは、たくさんの大会でいいところまで進んでいたけど負けてしまっていました。でも、友好会で富士シャークに負けて準優勝になった時は、ぼくは上野君からヒットを打てたことがとてもうれしかったです。

そして最後に南部少年野球大会で監督に優勝旗をプレゼントできたのでよかったです。

ぼくが、ウエスタンズに入団してここまで野球が上手くなれたのは、監督・コーチ・母達・お父さん・お母さんがいろいろとお世話してくれたから

だと思います。感謝の気持ちを忘れずに中学でも頑張っていきたいと思います。

## 9 平松 大暉

ぼくは、四年生の九月に愛知ベースボールクラブジュニアというチームから代わり入団しました。最初は、知っている人もいなくこのチームでやっていけるか心配だったけど、みんなが優しく声をかけてくれたおかげでこのチームにとけこむことができました。

ウエスタンズでの一番の思い出は、五年生のBチームの時のスポーツ少年野球大会の決勝戦です。ヒットは打てなかったけど、センターやサードで試合に出て優勝したことです。優勝した瞬間はすごく嬉しかったです。その感動は、一生忘れません。そして、卒団ギリギリで南部少年野球大会で、優勝できて良かったです。合宿は、Aチームの時に最初で最後だったけどいい思い出になりました。合宿での百本ノックは、つらかったけど終わったときはすごく気持ちがよかったです。一度しか経験できなかったのが残念に思います。

監督・コーチ大変お世話になりました。ウエスタンズで学んだ事は忘れません。中学校に行っても教えてもらった事を常に思い出して、練習していきたいです。そして、Aチームのみんなありがとうございました。一緒にがんばった事は良い思い出になりました。

最後に、ティーや、ランニング、キャッチボールに付き合ってくれたお父さん、おにぎりを作ってくれたお母さんありがとうございました。これからも、サポートよろしくお願いします。

## 11 加藤 雅大

ぼくが、ウエスタンズに入ったのは、三年生の三月でした。最初は、うまくなれるか心配でした。

Bチームでは、スポーツ少年団と春日交流戦で優勝できました。Bチームの終わり頃にピッチャーに変わりました。ピッチャーになって、いろいろなバッターと対戦するのが楽しみでした。

Aチームになって、優勝が一つと、準優勝が二つできました。優勝できた大会は、南部少年でした。決勝の相手は、ボンフリーでした。ぼくは、先発で出ました。試合前は、決勝ということで、すごく緊張しました。試合は、なかなか点が入らず、五回裏に、点を取ってくれて、二対0で向かえた最終回。この回を抑えて優勝する、という気持ちで投げました。0点で抑えることができました。みんなが打ったり、守ったしてくれたおかげ



で優勝できました。このウエスタンズで、やった経験を生かして中学校でもがんばります。

## 12 伊東 祥央

僕が野球を始めたきっかけは、プロ野球の中継を見ていたら、ボールを飛びついて取り、素早く立ち上がり一塁へ投げる井端選手を見て「カッコいい！こんな人になりたい！！」と思ったことでした。

それで4年生の夏にウエスタンズに入団しました。そのころは、練習にも全然ついて行けず、チームではずば抜けて下手くそでした（今でも下手くそですが・・・）。だからみんなについて行こうと必死に練習しました。そして初めて打ったヒットの感触は今でも忘れられません。

昨年の12月6日山本杯4戦目の不二ジュニア戦で6回まで0対0で試合が進み、7回表の守りで、一死二塁のピンチの場面で右中間に抜けそうなライナーを飛びついて取り、二塁へ投げてダブルプレーを取り、裏の攻撃でサヨナラ勝ちをしました。この試合で毎日練習してきて良かったなと思いました。

ウエスタンズに入団し、メンタル、技術などですごく成長することが出来ました。これは監督、コーチ、両親、ご父兄の皆様が一生懸命、あたたかく見守ってくれたおかげです。ありがとうございました。またこれからも、甲子園、プロ野球選手を目指し頑張っていきますので応援よろしくをお願いします。

## 13 宮里 龍太

監督、コーチ、母のみなさん、お世話になりました。僕が、野球を始めたのは、一年生でした。ウエスタンズとは、違うチームでしたが、兄の影響で、はじめました。ウエスタンズに入ったのは、四年生の3月でした。入る半年前ぐらいから、僕は、野球が、嫌いになってしまいました。やるのも、見るのも、ゲームもやりたくありませんでした。でも、ウエスタンズに入って、また野球が好きになりました。試合に出れなくても、勝てばすごくうれしかったし、負ければ、くやしかったです。出れたときは、自分なりに頑張れたと思います。春の労金杯で、投げたときが、一番思い出に残っています。六年生になって、骨折や肘のことで、なかなか、思うようにできなかったのが、残念でした。中学に、入るまでに、肘を完全に直してがんばりたいと、思います。最後に、金メダルが、増えてよかったです。お母さん、六年間、送

り迎え、お当番など、ありがとうございました。続けてこれたのも、野球がまた、好きになれたのも、監督、コーチ、チームメイト、母のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。これからも、がんばります。

## 14 高木 大樹

僕は六年生になってからウエスタンズに入団しました。六年生になるまで中国に住んでいて日本に帰ってきたら野球をやりたいと思っていました。帰ってきて、野球をやるにはどうしたら良いのか、どこにチームがあるのか分からなかった時に牧君と岩田くんと堀川くんに誘ってもらいウエスタンズに入る事が出来ました。最初みんなが上手で驚き自分の下手さにショックで、それから少しでもみんなにちかずけるように毎朝練習をするようになりましたが、まだまだ下手なもので、これから中学生になって硬式のクラブチームに入って監督やコーチに「ドンちゃん上手くなったな!」と言われるように努力する気持ちを忘れないように頑張ります。下手な僕に一生懸命教えてくれた監督コーチやメンバーに本当に感謝しています。約一年間という短い間でしたがありがとうございました。

## 15 渡邊 翔太

僕がウエスタンズに入団したのは6年生の6月です。体験で練習に参加した時は、バッティング練習でみんながすごく打っていて、全員が4番に見えました。僕が打とうとしても球が速すぎて全然打てないし、守備も難しい事やっていて、このチームでやっていけるか少し心配でした。でも、頑張っ練習すればみんなに追いつけると思い入団しました。

初めて参加した合宿の100本ノックでは、「まだ終わらないのかな」「今何本目なのかな」と自分では数える事ができないぐらいすごくきつかったけど、最後までやり遂げる事ができて嬉しかったです。

僕の印象に残っている試合は、三重遠征の試合です。試合では、3回ぐらいエラーして「もう代えられるなー」って思っていたけれど、次の回の最初の打席が僕だったので「絶対打とう」と思って打席に入りました。そしたら、やや高めの良い球がきて、それを振りきったら、その打球がレフトを超えていきました。そんな打球を打ったのは初めてで、練習を頑張ってきて良かったなと思いました。あと嬉しかったことは、初めて優勝して

金メダルが取れたことです。

9ヶ月という短い期間だったけれど、色々な事を教えてくれた監督、コーチありがとうございました。これからは、ウエスタンスで学んだことを活かして中学でも頑張っていきます。最後にお母さん達、今まで支えてくれて、ありがとうございました。

## 16 二宮 日出郎

僕がウエスタンスに入ったのは、6年生の8月の合宿からです。練習メニューはかなりハードでした。でも、やっていくうちに楽しくなり友達もたくさんできたのでとてもうれしかったです。合宿最後の「100本ノック」がとてもきつかったです。今でもあの辛さは忘れられません。僕の思い出に残る試合は友好会2回戦で代打で送られたときに打ったセンター前の初ヒットです。今までのヒットの中で一番よかったです。これは監督やコーチに教えてもらったことが結果にでたと思います。一月にいった「三重遠征」ではあまり打てなかったけど自分はこの試合で速いピッチャーにも遅いピッチャーにも対応できるバッターになろうと思いました。南部少年では試合に出れなかったけど声を一生懸命出して最後までがんばりました。これから中学で監督やコーチに教えてもらったことを守り必ずレギュラーになります。半年だったけど何年も何年もいた気分でした。監督、コーチ、母達に感謝します。短いウエスタンス生活でしたがありがとうございました。

## 井上コーチより

### 「ウエスタンスへの感謝」

長男の入団以来ウエスタンスでお世話になって8年半になりました。このたび個人的な事情によりAチームの卒団とともに退団させて頂くことになりました。

長男がウエスタンスでお世話になったのは小学4年の夏頃だったと思います。私自身がコーチとして入団したのはその数ヶ月後でした。理由は過去に月刊ウエスタンスで書いたことがあるのですが、当初は長男を送り迎えするだけで土手の上から見ていました。そのときの監督であった小川原監督の巧みな話術にもせられたのですが、会社の上司から「男の子は小学校くらいしか親と話をしてくれないぞ！試合や練習の後、家に帰ってきたときに一緒に風呂に入って今日の反省を

したりすることは小学生のうちだけだぞ」などと言われました。入ってみれば今の現役親コーチと同じ思いです。子供よりも自分の方がはまってしまったのです。

長男は小川原監督に2年半、次男は藤井監督と石川監督で2年、22期生の河倉監督で1年、そして23期生の高見監督で3年お世話になりました。

子供が少年野球を通して成長してくれたことは代表をはじめ、監督には大変感謝しています。それと同時に私自身が少年野球の指導、ボランティアの組織に携ることにより人として成長できたことはよかったと思っています。また自分の友人や会社関係以外に地域の方と知り合いになれたことも将来の財産だと思っています。

コーチとしての指導と同時に事務局としても自分なりにやってきましたが、ボランティアの組織としての難しさはいろいろありました。昔の野球好きの子供が集まって、近所のおっちゃん教える時代とは明らかに違います。

今年で創立25周年を迎える伝統ある名古屋ウエスタンスに関われたことに感謝します。臼井代表、藤井総監督、小川原監督、高見監督、伊神コーチ、春監督、小池コーチ本当にお世話になりました。ホームページで試合結果は絶対気になってみますので、1つでも旗をとって選手、母、親コーチの喜ぶ顔が見たいですね！

## 選手紹介

このコーナーでは、これから入団する新入団員の紹介をいたします。

チーム	学年	氏名	学校
C	3	岡田 隼弥	蓬萊小

## 1・2月の成績

### Aチーム

H22.1.9(土)

桔梗ボーイズ25周年記念大会 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
百合丘レッドキッズ	0	0	0	1	0			1
ウエスタンス	5	0	0	3	×			8

勝投手： 加藤

負投手： 今城

H22.1.10(日)  
 桔梗ボーイズ25周年記念大会 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
粟葉少年 野球	0	0	1	0	0			1
ウエスタ ンズ	0	3	2	4	x			9

H22.1.10(日)  
 桔梗ボーイズ25周年記念大会 3回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	0	0	0	0			0
旭ヶ丘 クラブ	1	2	0	0	x			3

H22.1.11(月)  
 桔梗ボーイズ25周年記念大会 敗者戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
JBC 玉城	0	1	2	1	1	0		5
ウエスタ ンズ	0	0	0	3	0	0		3

H22.1.11(月)  
 春日交流戦決勝トーナメント 準々決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
不二 JBC	0	0	0	0	0	0	3	3
ウエスタ ンズ	0	0	0	1	0	0	0	1

H22.1.16(土)  
 南部少年 準々決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8
ウエスタ ンズ	0	0	0	0	0	1	0	2
有松ジュ ニアーズ	0	0	0	0	1	0	0	0

H22.1.23(土)  
 山本杯 第7戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	0	0	0	1	0	0	1
城山少年 野球	0	0	0	0	0	0	0	0

H22.1.24(日)  
 山本杯 第8戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
サンデー ジュニア	0	1	0	2				3
ウエスタ ンズ	2	1	1	1				5

H22.1.31(日)  
 南部少年 準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
三谷東 若葉	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタ ンズ	0	0	0	1	0	0	x	1

H22.2.6(土)  
 練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
グレートブラ ザース	0	0	0	0	0	0	1	0
ウエスタ ンズ	2	0	1	0	0	0	x	3

H22.2.7(日)  
 南部少年 決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
スポ-ックラ ブボンリー	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタ ンズ	0	0	0	0	2	0	x	2

H22.2.13(土)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
旭丘シャークス	0	1	5	2	1	0	1	10
ウエスタズ	0	0	0	1	0	2	7	10

H22.2.14(日)

練習試合 第1戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
愛知・海	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタズ	0	0	0	0	0	2	×	2

H22.2.14(日)

練習試合 第2戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタズ	0	2	3	0	2	0	0	7
愛知・海	0	0	0	0	0	0	2	2

H22.2.20(土)

山本杯決勝トーナメント 準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
平針HBC	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタズ	0	0	0	2	0	1	×	3

H22.2.20(土)

山本杯決勝トーナメント 決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	SD
ウエスタズ	1	0	0	1	0	0	0	2
守山ボーイズ	1	0	0	0	1	0	0	3

Bチーム

H22.1.9(土)

愛球リーグ 決勝トーナメント 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
岡崎JBC	1	1	0	0	0			2

H22.1.9(土)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
富士シャーク	2	4	0	0	1	0	7	14
ウエスタズ	0	0	0	0	0	0	0	0

Cチーム

H22.1.16(日)

春日交流戦 5回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
名古屋ウエスタズ	1	2	6	7				16
平和ドラゴンズ	0	0	1	1				2

H22.1.24(日)

春日交流戦 6回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
春日少年野球クラブ	0	0	5	0	1	1	7
名古屋ウエスタズ	3	2	0	2	0	1×	8

## 試合結果のまとめ

Aチーム

南部少年 優勝  
 山本杯 2勝(リーグ戦8戦全勝)  
 準優勝(決勝トーナメント)  
 春日交流戦 準々決勝敗退  
 桔梗杯「一」記念大会 準々決勝敗退  
 練習試合 3勝1分

Bチーム

愛球リーグ決勝トーナメント 1回戦敗退  
 練習試合 1敗

Cチーム

春日交流戦 2勝

## お知らせ

長い間、編集のまとめをさせていただきましたが、今回が最後となります。月刊ウエスタズも発行が100回以上となりチームと同様に歴史ある冊子となりました。

Aの斎藤コーチ、B的那須コーチ、Cの奥西コーチ毎試合の試合結果の記入ご苦労様でした。新年度はCの奥西コーチが編集局長とされます。HPで確認するのを楽しみにしていますのでよろしくをお願いします。

次回4月号は新年度号です。よろしくをお願いします。

編集事務局 井上  
編集者：斎藤、那須、奥西